



2022年3月25日
JR東日本長野支社

明科駅のリニューアル工事について

明科駅は現駅舎になってから約100年が経過し老朽化が進んでいることから、お客さまがより快適にご利用していただけるように、安曇野市で施行中の明科駅前広場整備と合わせて2022年度に駅舎のリニューアル工事を実施します。新しい駅舎は安曇野市で建設している公共トイレ棟と統一感のあるデザインとしています。

※現駅舎の完成は1927年8月

1 完成予定

2022年度末

2 コンセプト

安曇野市で整備している公共トイレ棟と合わせた片流れ屋根の外観とし、一目で駅が生まれ変わったことを感じさせる佇まいを創出します。外壁や内装には木材を使用し、木のぬくもりを感じ風合いの変化も楽しむことのできるデザインとします。明科の歴史を感じられる展示コーナーを備えた待合室とし、外部には周辺の緑や北アルプスを望むことができるウッドデッキを設け、皆さまに愛される駅舎となることを目指します。

3 完成イメージ



(外観)



(内観)

4 リニューアル駅の特徴

(1) 長野県産材の活用

長野県産材 CO₂固定量認証制度※ (ECOCO) の☆☆☆☆☆ (五つ星) の基準である、県産材の利用量80%以上を目標に、駅舎の構造材、内装材に県産材を活用し、地域の森林整備や環境保全に貢献するとともに、地域の皆さまに親しまれる駅舎を目指します。

※長野県産材 CO₂固定量認証制度

県産材を使用した住宅等を建築する施主、店舗や事務所を木質化する企業等に対し、

「県産材利用の環境貢献度」(= CO₂固定量、森林整備貢献面積)を数値化し認証している制度。

(2) 太陽光パネル設置

屋根上に太陽光パネルを設置し、発電した電力を待合室、事務室等に活用することにより、さらなる CO₂削減を目指します。



(太陽光パネル設置イメージ)